

こさい議会だより

ぎかいのひろば

No. 193 第2回臨時会・9月定例会

令和2年10月31日発行

特集

市議会

国際交流協会

- 4 第2回臨時会・9月定例会
新型コロナウイルス助け合い基金・PCR検査センター設置議案
小・中学生1人1台学習用タブレット端末整備のための補正予算を可決
- 6 市のお金は何に使った? (令和元年度決算審査)
- 9 請願審査・意見書議決の結果
- 10 そこが聞きたい!! 一般質問
- 15 あの質問どうなったの?



※写真撮影の際だけ、マスクを外しています。



特集 “国際交流の役に立てること” 外国人向けの日本語学習支援をしている皆さんにお話を伺いました。

令和2年8月28日実施

教えることになったきっかけは？

- 会社勤めで、外国の方に日本語を教えていました。世界の人と話すことや、文化の違いに興味を持ちました。日本と外国との違いや、面白いところを外国人の子どもに教えてみたかったです。
- アメリカ、ベトナム滞在の経験があり、現地の人にお世話になったからです。
- 日系ブラジル人2世として来日し、その時にお世話をしてくれた人の後を継ぎ通訳をしています。子どもの気持ちを通訳として助けてあげたいです。
- 学校で外国人に日本語を教えたり、指導をした経験があったため、声をかけられました。
- 今は大学生ですが、この協会でも日本語を教えてもらい、いま教える側になっています。



おいでん祭



KOKOまつり



KOKOクッキング(タイのカービング)

どんなことを教えていますか？

- 学年や世代ごとに分かれて教えています。
小学生には今学校で教えている学習支援(平仮名の書き方、発音、宿題)や、初期支援の子どもには挨拶の仕方などを教えています。
- 大人には日本語の会話練習などを指導しています。



活動の頻度は？

- おおむね週1回から2回程度活動しています。

嬉しかったこと、良かったこと、大変だったことは？

- サポートした子どもが作文などを書いてくれたことや、そこで賞を取ったときはうれしかったです。
- 自国へ帰った子が結婚したとか、子どもができたという便りが来たときはうれしかったです。
- 外国の人と親しくなれ、怖いと思うこともなく、普通に話ができるようになったことが良かったです。
- 楽しく活動しているので、大変だと感じたことはありません。

市や議会に望むことは？



- 学校で外国から来た子のレベルに合った支援を充実して欲しいです。
- 子どもたちは、将来湖西市民として活躍する人財になるので、日本語支援を充実して欲しいです。
- 大人も救急車を呼んだり、普段買い物をしたり、日常生活を問題なく送れるように日本語を指導する組織体制を整えてほしいです。

市民に伝えたいことは？

- 外国人も日本人も人はみな同じです。あいさつなど、気軽に声かけてみてください。

日本へ来る外国人の児童生徒が増えています。その子たちが学校での生活になじめるようにするため、基本的な日本語や生活ルールを教える初期支援、そして大人も言語や文化の違いを超えて十分なコミュニケーションや経済活動ができるためには、行政の支援と湖西国際交流協会の安定した運営体制の確保が重要であると痛感しました。ありがとうございました。



☆国際交流協会ではボランティアを募集しています。国際交流に興味のある方、イベントが好きな方、ボランティア登録をしてみませんか？

☆会員も募集中です。

もっと知りたい方、興味のある方は、こちらまでお問合せください。

☎053-575-2008 湖西国際交流協会事務局

新型コロナウイルスこさい助け合い基金・PCR検査センター設置議案を可決

第2回臨時会

会期 7月17日

☑ 条例の新設	1件
☑ 補正予算	1件
合計	2件

この中から1つの質問を紹介します!!

新型コロナウイルスこさい(531)助け合い基金条例を可決

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い実施する、PCR検査センター設置のための経費や医療従事者を支援する事業などに要する経費に充てるため、助け合い基金条例を制定するもので、全員賛成により可決した。

問 寄附の方法及び寄附した場合の税控除は。

答 インターネットによる寄附(クラウドファンディング)が10月31日まで。納付書による寄附(市役所健康増進課の窓口持参、郵送、メール、FAX)は令和3年3月31日まで。

寄附金額は2,000円からで寄附金控除の対象(要確定申告)となる。

小・中学生1人1台学習用タブレット端末整備のための補正予算を可決

9月定例会

会期 9月2日～9月30日
29日間

☑ 条例の一部改正	2件
☑ 補正予算	7件
☑ 令和元年度決算	7件
☑ 人事案件	1件
☑ 意見書・請願	各1件
☑ その他	4件
合計	23件

この中から2つの質問を紹介します!!

議案第58号

人事案件

教育委員会委員

任期満了となる袴田雄司氏はかまたゆうじ(岡崎)を引き続き選任することに同意した。

議案第65号

令和2年度湖西市一般会計補正予算(第7号)を可決

全員賛成により可決した。今回の補正により、予算額は6億3,927万8千円増額され、総額289億6,347万3千円となった。

補正(第7号)の主な内容

<歳出>

- 小学校施設管理運営費 4億3,164万7千円
 - 中学校施設管理運営費 2億2,070万1千円
- 小・中学校の全児童・生徒に1人1台学習用タブレット端末を整備するための経費を計上。

問 ハード面・ソフト面を含めた積算根拠は。

答 GIGAスクール構想の実現に伴う「児童生徒1人1台端末整備」に係る経費で、学習用コンピュータ(小学校3,082台、中学校1,567台、教員201台)と、充電保管庫

(小学校120台、中学校60台)を購入する。コンピュータには学習用ソフトウェアを導入するほか、アカウント情報の登録などに伴う設定費、セキュリティ強化のための経費も予定している。

GIGAスクール構想

小中学生に1人1台のPCと通信ネットワーク環境を整備し、子どもたちの個性に合わせた教育の実現を目的とする計画。

●生活保護費 1,574万円

新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者への支援を強化するため、相談機関への委託料及び住居確保給付金を増額。

問 新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者の状況と、今後の見込みはどうか。

答 生活困窮者自立相談支援事業の相談件数(令和2年4月～8月)は総計324件で、一月でおおよそ1年分の相談件数を超えている。住居確保給付金の申請件数は34件で、すでに年間申請件数の10倍に近づく勢いである。いずれも6月をピークに減少傾向だが、今後も雇用情勢の改善が進まない場合は、生活保護申請者が増加することも予想される。

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	柴田一雄	加藤治司	滝本幸夫	三上元	福永桂子	菅沼淳	土屋和幸	高柳達弥	楠浩幸	佐原佳美	吉田建二	加藤弘己	竹内祐子	荻野利明	馬場衛	中村博行	神谷里枝	二橋益良
71	令和元年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
72	令和元年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(加藤弘己)は採決に加わらない。

令和元年度

決算

市のお金は 何に使った？

令和元年度各会計決算を認定

PICK UP!

令和元年度各会計決算を以下の委員会に付託して審査を行った。

決算特別委員会⇒一般会計

総務経済委員会⇒国民健康保険・後期高齢者医療事業決算

福祉教育委員会⇒介護保険・病院事業決算

建設環境委員会⇒公共下水道・水道事業決算

今回は決算特別委員会の中から、いくつかの質疑をPICK UP!

令和元年度各会計決算

(単位：円)

会計区分		決算額	
		歳入	歳出
一般会計		23,518,146,571	21,722,106,474
特別会計	国民健康保険事業	5,916,806,355	5,556,600,931
	介護保険事業	4,125,667,269	3,856,328,513
	後期高齢者医療事業	679,843,633	678,082,946
企業会計	公共下水道事業	収益的収入	収益的支出
		1,378,204,136	1,313,239,212
		資本的収入	資本的支出
		607,125,880	952,012,056
	水道事業	収益的収入	収益的支出
		1,238,977,920	1,030,886,327
		資本的収入	資本的支出
		4,691,000	306,617,348
	病院事業	収益的収入	収益的支出
		3,295,377,083	3,128,752,119
		資本的収入	資本的支出
		109,458,860	206,173,528

寄附金

問 ふるさと納税の大幅な減少に対する方策は。

答 現在総務省が示している基準を遵守しながら寄附金を確保するためには、寄附者に湖西市を選択してもらう工夫が必要である。質の高い返礼品をつくるよう事業者と協議しながら進めている。

移住・定住

問 移住定住促進事業をどう評価しているのか。

答 市では移住定住促進のため、

- 新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金
- 住もっか「こさい」定住促進奨励金
- わ〜くわく「こさい」で新生活!奨学金返還支援補助金

上記の制度を創設しており、就職、結婚、住宅購入というライフステージに合った制度としてPRしている。即人口増加に繋がってはいないが、平成29年度まで続いていた転出超過が、令和元年度は170人の転入超過であり、徐々に成果が出てきたと評価している。



◀ 新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金ポスター

保育

問 放課後児童クラブを利用する児童は毎年増加傾向だが、対応や課題は。

答 旧法務局で実施していた新居小放課後児童クラブ「たまゆら」を2分割し、2年生以上を子育て支援センターへ、1年生を新居小に移すために必要な改修や備品の確保を行った。岡崎小・鷺津小では活動スペースに余裕がないことや、民間クラブへの移動を伴うことによる安全・安心面での課題があり、学校施設の積極的な活用という国の方針に沿えるよう、学校とのさらなる連携が必要である。

環境衛生

問 防疫薬剤を8自治会に配付しているが、基準は。

答 基準は特に定めておらず、原則、自治会長からの申請に基づき自治会単位で配布している。防疫薬剤による蚊やハエなどの害虫駆除は、地域の広範囲で同時期に実施することにより、地域の衛生環境の維持に効果を上げると考えている。

労働

問 女性活躍推進事業参加者の就職実績と評価は。

答 延べ68名が参加し、うち11名が就職した。参加者から「もう一度働きたいと思った」「モチベーションアップになった」という意見があり、就労に対する不安の軽減、意識の向上に成果があったと認識している。子どもの成長に合わせて再就職を考える方が多く、毎年受講者が入れ替わるため、継続実施が必要である。

農業

問 有害鳥獣捕獲業務 委託・補助金により、被害はどの程度減少したか。

答 湖西市野生鳥獣等管理協会への委託実績及び農林水産業鳥獣被害対策事業費補助金の捕獲実績によると、カラス176羽、イノシシ119頭、ハクビシン14頭、タヌキ17頭、ヌートリア38頭、ニホンジカ2頭、アライグマ1頭、カルガモ31羽が駆除された。近年、ヌートリアなどの小動物による被害相談が増えており、市内全域で発生しているため対応に苦慮している。

観光

問 わんぱくランドの来場者は減少傾向だが、今後の検討は。

答 公共施設再配置計画では、令和2年の営業をもって施設を閉鎖する予定であったが、新居弁天地域の活性化のため、民間活力を導入することを目指し、今後の利活用の提案・検討を進めている。活用方法決定までは、修繕を行いつつ継続運営と考えている。



▲わんぱくランド

道路

問 地元要望道路改良事業 自治会要望・市民要望の件数・執行率と課題は。

答 自治会提出の要望295件のうち203件を執行(執行率68.8%)。市民提出の要望は道水路、河川、公園など総数422件のうち、368件を執行(執行率87.2%)。課題は、予算の範囲内での対応のため、要望のすべてに答えられないことであり、今後は要望事業に加えて、橋梁や舗装を始めとした施設の老朽化対策も計画的な実施が不可欠である。

消防

問 消防団員の訓練状況は。

答 訓練回数は158回、参加人員は延べ6,316人。

訓練は、年間の事業計画に基づき、月例訓練、ラッパ訓練、夜間パトロール兼操縦訓練等の毎月行う訓練のほか、新入団員訓練、分団三役訓練、機関員訓練などの年度初めに行う訓練、水防訓練、総合防災訓練、地域防災訓練、中継放水訓練等の全国的に一斉に行われる訓練を行っている。

教育

問 いじめ対策連絡協議会事業の詳細の内容は。

答 学校教育課長、青少年育成センター所長、各小中学校生徒指導担当者、小中学校校長代表者、家庭児童相談員、湖西市PTA連絡協議会代表者からなる協議会で、いじめの現状、対策、早期発見・早期対応・早期解決のための基本方策、国や県の動向などを確認し、各校での取り組みや課題などの情報交換や協議を行っている。

請願審査・意見書議決の結果

請願第1号

湖西市都市計画道路 新所原駅嵩山線道路整備の推進に関する請願を採択

(要約)

新所原駅から嵩山方面に向かう市道は幅員が狭く、歩道が整備されていないため、通勤、通学時間帯には歩行者、新所原駅方面への送迎車両が多く通行しており、歩行者との交錯の危険が長らく続いているため、未整備区間の早期整備実施について行政関係部署への働きかけをお願いする。

※議会で全員賛成にて採択された後、請願内容が実現するよう市長に送付した。

議案第79号

新型コロナウイルス感染症等の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書を可決

(要約)

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。また、近年、気象の急激な変化等により、自然災害の頻発化・激甚化にもさらされている。地域経済にも大きな影響が及び、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、財源確保や制度設計を確実に実現されるよう、強く要望する。

あて先▶▶内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣、経済再生担当大臣、衆議院議長、参議院議長

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。
今9月定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。

湖西市議会公式サイト

ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)



キャリア教育に対する教育委員会の考えは

01



楠 浩幸 議員

●キャリア教育の充実について

問 キャリア教育に対する教育委員会の考えは。

答 子どもたちが多くの大人と触れ合い、多様な生き方や価値観に触れ、経験し、感じたことをもとに、自らの力で生き方を考えることは、将来自立した社会人となるための基盤をつくることにつながり大変重要である。

問 キャリアパスポートの運用について、小中高等学校とどの様に連携を図り、活用するのか。

答 本年度から全ての小中学生が自身の変容や成長を自己評価し、将来への展望を図ることができるよう活用している。連携は、中学校入学の際に小学校での取り組みなどについて、個人ファイルとともに引き継ぎ、中学校卒業時には個人ファイルを返却し、高等学校で活用できるよう各自で保管としている。

市民による「まちづくり」が自治運営の目指すところでは

●地方自治のあり方について

問 市民による「まちづくり」を奨励することが、これからの自治運営の目指すところでは。

答 行政主導でなく、地域の特性や特徴をいかして、地域の方々の思いを反映し、地域を上げていくことが重要である。

行政としては支援できることはできる限り支援したいと考えており、自分たちの地域を良くしようという地域が増え、行政からも先進事例を紹介して、全体に広がっていく後押しをしたい。

問 市民と一体となった行政運営のための施策をどう考えているか。

答 無作為に選ばれた市民から参加者を募り、複合施設検討のための市民会議や、総合計画のまちの将来像を話し合う市民ワーキンググループを開催した。どちらも、これまで市政に関わりのなかった方々が、世代や職業を超えて自主的に参加いただいたことから、今後もこうした手法を取り入れ、あらゆる場面で市民の皆様の協力をいただき、行政運営に生かしたいと考えている。

02



二橋 益良 議員

「コロナに打ち勝つまち」の取り組みは

●「コロナに打ち勝つまち」について

問 「コロナに打ち勝つまち」の取り組みについて具体的な内容は。

答 貸付金利子補給、休業要請協力金や持続化給付金の対象とならない事業者に対するエール給付金を支給したほか、感染拡大防止に資する取り組みを実施する事業所に対するサポート補助金を支給。

また、市民と助け合って医療機関などを支援するための「新型コロナウイルスこさい助け合い基金」を設置した他、PCR検査の拡充を図るため、地域外来・検査センターを開設した。

●GIGAスクール構想への対応について

問 GIGAスクール構想に適した教材やカリキュラムが必要となるが、対応策は。

答 教材は、これまで情報端末にて使用していたものをベースに、使用機会を増やすことから取り組み、カリキュラムについては、現行のものを修正していく。

導入前には、教員対象に研修を行い、ICT（情報通信技術）支援員の協力を得ながら教員のICT活用能力の向上に努めていく。

GIGAスクール構想

小中学生に1人1台のPCと通信ネットワーク環境を整備し、子どもたちの個性に合わせた教育の実現を目的とする計画。

03



神谷 里枝 議員

GIGAスクール構想で授業などにおけるソフト面での対応は

04

●湖西市におけるGIGAスクール構想の取組について

問 GIGAスクール構想で授業などにおけるソフト面での具体的な対応は。

答 端末には、学習支援ソフト、ドリル教材などが入る予定である。既存の教材・教具と導入される端末をバランスよく活用し、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現や情報活用能力の育成を図りたい。

問 子どもたちがICT（情報通信技術）に触れる機会を増やすため、「ものづくりのまち湖西」として、発明クラブの拡充に積極的に取り組んでは。

答 発明クラブの講座として平成29年度からITロボットや3Dプリンターのプログラミング講座を取り入れた学習機会の提供を行っており、多くの子どもや保護者に関心を持ってもらうための指導プログラムや活動内容の拡充を行い、更なる発展につなげていきたい。



福永 桂子 議員

複合的な課題を抱えている方への相談支援体制は

●改正社会福祉法施行に伴う『断らない相談窓口』の構築について

問 複合的な課題を抱えている方への相談支援体制の状況は。

答 「介護」・「障害」・「子育て」のように属性別に相談窓口が設けられており、相談者が一番主な課題と認識する窓口へ相談している。

相談を受ける中で複合的な課題を抱えていることが判明した場合には、別の機関の職員も相談に加わり、相談終了後に別の機関に橋渡しをするなど、極力ワンストップとなるよう努めている。

●公明党湖西支部提出 コロナ禍『緊急申し入れ』について

問 コロナ禍での災害発生時の分散避難のため、市内のビジネスホテルなどを利用する制度は。

答 分散避難におけるビジネスホテルなどの使用については、現在、市内の2つの宿泊施設と要配慮者の避難施設として、災害時の協定を締結しており、費用は市が負担するので、避難者の負担は発生しない。

05



佐原 佳美 議員

ソーラーパネルのトラブルを防ぐために、市の条例を作っては

●ソーラーパネル条例について

問 ソーラーパネルのトラブルを防ぐために、市の条例を作ってはどうか。

答 本市では、静岡県モデルガイドラインを準用して、ガイドラインを策定し、太陽光発電設備が適正に設置されるよう努めてきた。本市として、より有効なものがあるかを検討し対応していきたい。

●小中学校の掃除に対する考え方について

問 「学校の掃除はできる限り教師に行わせないように努めるべき」という、中央教育審議会の答申に対する感想と、当市の小中学校の掃除をどう導いてゆくのか。

答 児童生徒に向き合う時間を確保し、働き方改革の流れの中で「教員の負担を軽減する」とこと捉えている。校内清掃においては教師による見届けの仕方を工夫することで負担軽減をしつつ、奉仕の精神や責任感の育成に引き続き取り組んでいきたい。

06



三上 元 議員

新たな地域公共交通への取り組みは

07

●高齢者にやさしい、利用しやすい交通手段のある街へ

問 湖西市地域公共交通会議では、コーちゃんバスを中心とした「公共交通施策は限界が来ており」とのことだが、内容は。

答 市の公共交通に関する市民満足度は低く、バス停が遠い、便数が少ないといった利便性に関する意見が寄せられているが、運行を担うバス業界全体が運転手不足と働き方改革という大きな課題を抱えている。そこで市では、コーちゃんバス中

心の公共交通だけでなく、デマンド型乗合タクシーの運行区域拡大やBaaS事業等、新たな公共交通サービスに取り組んでいく。

問 モネ・テクノロジーズとの連携を進めている予約配車システムの導入など現時点での進捗状況は。

答 予約配車システムは11月頃からBaaS事業の実証実験を開始する予定である。高齢者がスマートフォン等予約システムを活用することへの受容性・操作性も含め検証し、活用のあり方を検討していきたい。



加藤 治司 議員

本市農業の目指す姿は

●湖西市農業の現状と振興策について

問 本市農業の目指す姿をどのように描いているか。

答 農業振興地域内の優良農地を確保し、その農地を地域の農業生産の担い手となる認定農業者へ集積を図っていく。従来からの基幹作物であるコメなどの産地としての維持、拡大を図る。新規就農者の育成・確保のため、関係機関と協力し地域の総力をあげて地域の中心的な経営体へと育成することなどを目標としている。

問 新規就農者、女性就農者など担い手確保のための対策や育成指導の取り組みは。

答 新規就農者へは、国の農業次世代人材投資事業費補助金の活用、市・県・農業経営士や同じ作物を栽培する認定農家、とびあ浜松で構成されたサポートチームとの連携など、地域全体で農業者を育てていく体制を整えている。女性就農者へは、県の「つながる農業女子会」による経営力向上とネットワークづくり、「農山漁村ときめき女性」による農業者や農業振興のために積極的な活動をしている者の認定などについて参加案内を行っている。

08



高柳 達弥 議員

ICT(情報通信技術)推進に向けた計画及び取り組みは

●行政におけるデジタル化、ICTを活用したまちづくりについて

問 当市におけるICT推進に向けた計画及び、取り組みの現状は。

答 現在、GIGAスクール構想、RPAの導入、SNSによる情報発信を行っているが、各課で必要なICT施策を立案・導入しているため、全体計画はない。しかし、新型コロナウイルスにより行政のデジタル化の遅れが浮き彫りになったこともあり、今後、「ICT推進計画」を策定し市民サービスの向上と事務の効率化を図っていきたい。

RPA

Robotic Process Automationの略称
無形のロボットによる業務自動化

問 社会問題である、子どもを取り巻く「IT環境」の有害情報対策に対する取り組みは。

答 学校現場では、情報モラルの学習、専門家を招いた講演会の開催、学校・学年便りやウェブサイトでの啓発、生活アンケートなどによる実態調査などを行っている。また、PTA連絡協議会で各家庭に啓發文を配布したり、地区教育懇談会で話し合いをしている地域もある。教育委員会でも、文部科学省や県教育委員会からの講演・講座の案内や啓発資料を送付し、周知や活用を呼び掛けている。



柴田 一雄 議員

湖西市企業シャトルBaaS事業の進捗状況と主な取り組みは

●湖西市企業シャトルBaaS事業について

問 湖西市企業シャトルBaaS事業の今年度における進捗状況と主な取り組みは。

答 経済産業省が実施する「地域新MaaS創出推進事業」の採択を受けた。また、コーちゃんバスと企業シャトルバスの運行が重複する地域で両者が連携して地域住民などに移動サービスを提供するための実証実験や地域住民への行動変容についての検証を行う。

●空き家対策と活用について

問 リモートワークの普及が進み、都市部から郊外への移住に関心が高まっているが取り組みは。

答 新しい生活様式のなかで、雇う側・雇われる側、共に働き方に対する意識が変容しており、首都圏から地方への関心が高まっている。「職住近接」を推進する市にとって契機と捉えており、空き家の活用に関しリモートワークを前提とした移住への支援について研究したい。



滝本 幸夫 議員

浜松三ヶ日・豊橋道路[仮称]事業の進捗状況は

●湖西市の重要課題の状況について

問 浜松三ヶ日・豊橋道路[仮称]事業の進捗状況は。

答 現在、国土交通省中部地方整備局において「概略ルート・構造の検討」を行うための計画段階評価が進められている。6月には、第1回意見聴取の結果も踏まえた3つのルート案とIC設置箇所についての考え方が示された。9月からは第2回意見聴取が始まっている。今後も関係機関と連絡を密にし情報収集に努めていく。

問 市民会館についての現状の進捗状況は。

答 平成31年3月に2029(令和11)年4月供用開始のロードマップを公表した。令和元年度には、新施設の利用が見込まれる市民団体から意見・要望を伺った。今年度、それらの意見を加えた基本構想を策定する市民ワークショップを計画していたが、新型コロナウイルスの影響で延期となった。今後、開催に向けて進めていく。



土屋 和幸 議員

今後のさらなるPCR検査拡充は

●新型コロナウイルス感染防止対策とPCR検査について

問 今後のさらなるPCR検査拡充についての考えは。

答 本市では、PCR検査を実施できる医療機関も限られることから、今のところすぐの検査拡充は難しい。感染者数に応じて、必要であれば浜名医師会に増員をお願いするなど、対応を検討していく。

問 設置された「地域外来・検査センター」と市民病院である湖西病院との連携は。

答 湖西病院の感染症専門スタッフから、リスクを防ぐため、医師や看護師、事務職員に対して、防護服の着方や汚染物の処理方法などの専門的なアドバイスもらった。また、診療報酬の請求や、連携医療機関との連絡業務の事務的な協力も受けている。



菅沼 淳 議員

コロナ禍における生活困窮者からの相談状況は

●コロナ禍における生活保護申請の迅速で柔軟な対応について

問 生活困窮者からの相談状況は。

答 令和2年4月～8月までの生活保護相談は129件、申請件数は14件で、過去5年同時期平均と比較して相談は32件・申請件数は3件増加している。その他、住居確保給付金は前年総支給件数と比較して8月末時点で44件と10倍を超えており、緊急小口資金は前年総貸付件数3件から8月末時点で227件と70倍を超えている。

●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

問 県知事が原則市町名を公表する方針を示したが、これに至った経緯は。

答 県保健所の判断で、本人同意を重視し市町名非公表としていたことで、市民の不安を煽り、誤情報や風評被害が広がるのを懸念していた。浜名医師会からの要望書などもあり、8月21日県知事との意見交換会にて、市町単位での公表を要望し、他市長からも同様の意見があり、この方針に至った。



荻野 利明 議員

その他の質問 コロナ禍において市内の中小業者・商店・観光業者等の経営状況について

廃棄物処理業務の業務報告会の定期的な開催を

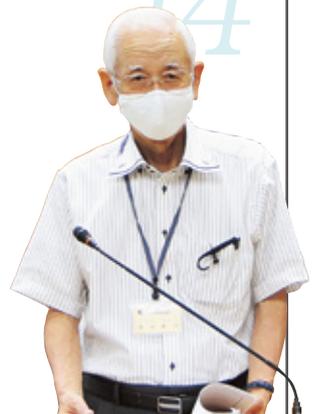
●廃棄物処理業務の堅実な推進に向けて

問 環境センター業務を円滑に進めるため業務報告会を定期的開催しては。

答 環境センターは、建設当時から変わらず地元自治会委員・地元近隣住民・行政委員から構成される「環境センター運営協議会」を開催し、環境基準をはじめとする運営体制や施設の改良・改修などの報告と意見交換を実施している。また、今回の再稼働のような大きな節目には地元自治会を中心に説明会なども開催しており、今後も、「環境センター運営協議会」を継続していきたい。

問 どのような評価、結果から環境センター再稼働を決断したのか

答 ①浜松市への委託継続、②浜松市以外への焼却委託、③使用できる機器を活用しその他の部分を改良しての再稼働、④建屋のみを利用し焼却設備をすべて更新。これらの4つのモデルケースに対して、「ごみ処理の安定性」「湖西市としてのメリット・デメリット」「経済性」について評価、総合的に判断し、③のケースで再稼働という方針を決めた。



吉田 建二 議員

市民の湖西病院利用状況は

15

●市立湖西病院の経営戦略について

問 市民の湖西病院利用状況は。

答 救急車による受入件数は、令和元年が1,032件、湖西市消防の救急車搬送先のシェアとして50.05%。湖西市国民健康保険・後期高齢者医療保険のデータでは、25.5%の患者が湖西病院に入院している。利用者の湖西市民の割合は、91.85%である。

問 令和元年度の経営成績は前年同期比でどれくらい変わったのか

答 前年度比、入院収益は7,199万円の減少、外来収益は2,096万円の減少、検診収益は1,156万円の増加。主な要因は医師数の変動によるものである。また、企業債の返済が減少したことや営業助成の委託業務見直しなどで費用を削減し、繰入金は1億7,965万8千円減少した。



中村 博行 議員

スポーツ少年団や中学生スポーツクラブへの活動推進は

16

●「湖西市スポーツ推進計画」の取り組みについて

問 スポーツ少年団や中学生のスポーツクラブへの活動推進についての取り組みは。

答 スポーツ少年団管轄の湖西市スポーツ協会との連携や学校の枠を超えた「ジュニアスポーツクラブ」の活動を継続・推進することがクラブ活動などへの減少者対策につながり、青少年の体力の向上及び人格の形成に寄与するものだと考える。

問 「まちに活力とスポーツのまち湖西」を情報発信する取り組みは。

答 現在、情報発信力のあるスポーツイベントとして、浜名湖CUPサッカー大会、市駅伝大会、湖西市発祥のニュースポーツ「コーちゃんデカスポテニス大会」の開催などは、市をPRできる大会であり、これらを充実させていくことは、大変重要な取り組みである。今後は、コロナ感染対策を考えた上で、積極的なイベントの実施とウェブサイト、SNSを活用した情報発信を進めていきたい。



馬場 衛 議員

あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.179 掲載 (平成 29年 7月 31 日付発行)

●不育症に対する湖西市の対応状況は

問 静岡県で開始された不育症治療費助成事業を、県の方針に沿って湖西市で実施する考えは。

答 近隣市の状況や市民の声を踏まえ、平成30年度から助成を開始できるよう検討していく。

追跡してみると…

平成30年度から湖西市でも不育症治療費助成が開始されたほか、平成29年8月発行の広報こさい9月号で不育症について紹介するページが設けられました。

広報こさい
平成29年9月号▶



「議会報告会」の中止について

例年この時期に、自治会等のご理解ご協力をいただき、皆様の地域へお伺いし開催させていただいております「議会報告会」ですが、残念ながら本年は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、各会場に市民の皆様にお集まりいただく議会報告会は中止することとしました。

つきましては、この議会だよりの〈令和元年度決算審査〉をもって報告会に代えさせていただきます。皆様の健康を守る観点から、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご意見は拝聴させていただきますので、議会事務局までご連絡下さい。

- TEL 053-576-4791
- FAX 053-576-0331
- E-Mail gikai@city.kosai.lg.jp

市議会からのお知らせ

「ぎかいのひろば」を スマホでも!



「マチイロ」を使えば、「ぎかいのひろば」をスマートフォンで読むことができます。(※別途通信料が掛かります。)

利用方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「湖西市」に設定



編集委員 (◎は委員長、○は副委員長)

- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| ◎加藤 弘己 | ○吉田 建二 | 柴田 一雄 | 加藤 治司 |
| 滝本 幸夫 | 福永 桂子 | 竹内 祐子 | 荻野 利明 |

12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24	25	26	27 10:00~ 本会議第1日	28
29	30	12/1	2	3	4	5
6	7	8 10:00~ 本会議第2日 (一般質問)	9 10:00~ 本会議第3日 (一般質問)	10 10:00~ 本会議第4日 (一般質問)	11	12
13	14 10:00~ 本会議第5日	15 10:00~ 総務経済 委員会	16 10:00~ 福祉教育 委員会	17 10:00~ 建設環境 委員会	18	19
20	21	22 10:00~ 本会議第6日	23	24	25	26

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

